

調査・研修等計画届出書

令和5年7月11日

瀬戸市議会議長 様

議員名 原 誠

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和5年7月22日から7月23日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	第65回自治体学校 in 岡山	
会場名（会場所在地）	岡山市立市民文化ホール	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	<ul style="list-style-type: none">・地域の主権を大切に、ムニシパリズムの広がり 世界各地の自治体では、公共サービスを住民の手に取り戻す「再公営化」の動きや地域経済を自立的に再興する動き、より直接民主主義的な政治の実現をめざす動きが起こっている。人の命や生活が置き去りにされている現状に対して、「住民が真ん中、豊かな環境、多様性あふれる新時代へ」をスローガンにしたムニシパリズムの思想と実践を考える。・自治体政治・行政入門・自治体財政のしくみと課題	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="radio"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名		

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和5年10月23日

瀬戸市議会議長 様

議員名 原 誠

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和5年7月22日から7月23日まで（1泊2日）
調査先・研修名	第65回自治体学校 in 岡山
会場名（会場所在地）	岡山市立市民文化ホール
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	<ul style="list-style-type: none">・地域の主権を大切に、ムニシパリズムの広がり 世界各地の自治体では、公共サービスを住民の手に取り戻す「再公営化」の動きや地域経済を自立的に再興する動き、より直接民主主義的な政治の実現をめざす動きが起こっている。人の命や生活が置き去りにされている現状に対して、「住民が真ん中、豊かな環境、多様性あふれる新時代へ」をスローガンにしたムニシパリズムの思想と実践を考える。・自治体政治・行政入門・自治体財政のしくみと課題
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
<p>記念講演① 地方自治と地域 この1年から考える 中山徹（奈良女子大学）</p> <ul style="list-style-type: none">・デジタル田園都市国家構想…自治体を総動員して市民生活のデジタル化を推進。市民生活に関わる医療や福祉を民間に委ねていくのが構想の本質。市民をデジタル化に取り込むために不可欠なのがマイナンバーカード。・国の政策を無批判に受け入れる自治体が多くみられる。・23000校あった小学校が18000校に。毎年小学校が減っている。公立保育所も13000→7000に減少。・市民向けの公共施設を減らし、民営化を推進。こんなことを続けると地域に深刻な影響が出る。・地方政治が動く条件は投票率の向上にある。地域を破壊から守るとい票が増えるかどうか。女性と若者の投票率が上がると変わる。	

・市民がまちづくりにかかわってこないと成長しない。市民はまちづくりにかかわる中で自治能力を高める。市民参加は市民の意見をきくということ。市民参加を通じて自治能力の高い市民を育成する。市民が市民運動にかかわることで地域に関心を持ち、自治能力の高い市民として成長する。そのような取り組みを通じて地方政治の変革が可能となる。

記念講演② 地域の主権を大切に、ミュニシパリズムの広がり 岸本聡子（杉並区長）

- ・杉並区議会議員選挙の当選者のうち48人中女性が24人に。投票率が前回より4.19%上がった。若い世代の投票率が上がった。
- ・杉並ドラフト会議を市民が立ち上げ、投票率を上げるための工夫を行った。投票率が4.19%上がっただけで議会の景色が変わった。
- ・質問の内容ががらりと変わった。ジェンダーや気候危機、生活の危機という質問がたくさん出る。多様な人が議会にいるということが重要だと思う 候補者選びから変わっていかなければならない。
- ・政治の優先順位を変える。ジェンダーやフェミニナイズーション、LGBTの担当部を市の中に作る。東京はいまだに都市計画道路を作り続けている。東京都は財源があるせいで一回決めたら止まらないが、バルセロナは都市空間のありかたを人間中心・こども中心にみていった。

講座11 自治体政治・行政入門 柏原誠(大阪経済大学)

- ・定数を削減して競争率をあげる 総与党化と八百長学芸会（片山元鳥取県知事）
- ・大阪では7割が1人区に削減され、多様性が少ない議会に。首長を政党が公認しているのは大阪だけ。大阪府の吉村知事は維新の代表、大阪市の横山は維新の幹事長。議員の公認権を持っている。議員の公認権を持っている首長を議員がチェックできるのか。議会の形骸化。行政の監視機能がなくなる。大阪では万博の計画が遅れてずさんな話、議会がチェックしないから。
- ・党利党略ではなくて市民の代表を。参議院の比例は支持政党が一番ストレートに出る。自分の地方議会は本来持っている多様性を測れる。定数削減で有効政党数がどんどん減る。

講座12 地方財政のしくみと課題 川瀬憲子(静岡大学)

- ・「地方創生」政策は、立地適正化計画、アセットマネジメントと連動。福祉や教育、文化施設などの統廃合を含んでおり、市民生活に及ぼす影響が大きい。都市機能や居住機能の集約を促す一方で、災害リスクの高まりなど市民の生活圏から見れば多くの課題が残る。
- ・注目される小規模自治体の取組。「小さくても輝く自治体フォーラム」島根県海士町（隠岐諸島）…高校魅力化プロジェクトなどで、UIターンの増加に成功。地元

自治体とのコラボ、創業者への支援、雇用を生み出す知恵と工夫。出産や子育てへの公的助成、公営住宅の充実。

長野県阿智村、20年間人口が横ばい、公民館での学習活動 学習型まちづくりへの提案 移住者への丁寧な支援。

維持可能な社会への実現と内発的発展、共同参画型福祉社会へ。

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

●全体会 選挙の投票率が年々低下しているのは、「投票してもどうせ変わらない」という意識が市民の中にあるのではないかと。投票率が上がり、いろんな人が選挙に参加（投票率を上げるイベント、立候補する上でのハードルを下げる等）できるように工夫をする必要がある。投票率が上がれば政治は変わり、無関心な人が減る、良い循環が生まれると思う。

●分科会 小さくても元気な自治体は、公的助成がきちんとしていることがわかった。持続可能な社会を作っていく上で、公が果たすべき役割はもっと見直されてもよい。

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

●瀬戸市でも市長選・市議選の投票率が50%を切り、投票率を上げる取り組みが重要であると考えます。そのためには、杉並区で行われたような杉並ドラフト会議のような取り組みはもちろんのこと、市民が主体的に選挙に参加すれば政治にもっと市民の声を届けることができる実感できるようにすることが大切である。杉並区長のお話は、その重要性を示唆してくれたと思う。市民の声がしっかりと届く瀬戸市政へ、この街に暮らしていて本当に良かったと実感できるような瀬戸市政を実現するために頑張りたいと思う。

●90年代後半からの新自由主義の広まりの中で、自治体の役割を縮小しようとする動きが続いているが、ヨーロッパでは行き過ぎた民営化路線を見直し、公的役割を再評価する動きが強まっている。行き過ぎた民営化により、公共サービスにひずみが生じてきている地域も出てきつつあり、そうならないために質の高い公共サービスを維持できるようにとりにくんでいきたい。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
5 年 7 月 22 日	新瀬戸	名鉄	片道	大曽根	14.1	km	410	円	円
	大曽根	JR	片道	名古屋	9.8	km	6,380	円	円
	名古屋	新幹線	片道	岡山	366.9	km		円	5,230 円
	岡山駅前	私鉄	往復	小橋	4.6	km	280	円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
アークホテル岡山					086-233-2200		11,000 円		
備考欄									

23,300 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
5 年 7 月 23 日	岡山駅前	私鉄	往復	清輝橋	4.2	km	280	円	円
	岡山	新幹線	片道	名古屋	366.9	km	6,380	円	5,230 円
	名古屋	JR	片道	大曽根	9.8	km		円	円
	大曽根	名鉄	片道	新瀬戸	14.1	km	410	円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

小計 12,300 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
							km		円
							km		円
							km		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

パック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

11,000 円

24,600 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

35,600 円